様式第９（第20条関係）

＜ＨＴＭＬ＞
＜ＨＥＡＤ＞＜ＴＩＴＬＥ＞計量法106条１項＜／ＴＩＴＬＥ＞＜／ＨＥＡＤ＞
＜ＢＯＤＹ＞＜ＰＲＥ＞
【書類名】指定申請書
【提出日】
【あて先】経済産業大臣　殿
【提出者情報】
　【氏名又は名称】
　【住所】
【適用条文】計量法第106条第１項
【様式番号】001
【指定の区分】
【事業所の名称及び所在地】
【添付情報】
　【添付資料】
　【財産目録】
　【貸借対照表】
　【事業計画書】
　【収支予算書】
　【役員又は事業主の氏名及び履歴】
　【構成員のうち主たる者の氏名】
　【構成員の構成割合】
　【検定を行う特定計量器の種類】
　【１年間に検定を行うことができる特定計量器の数】
　【検定に用いる器具、機械又は装置の数等】
　（検定に用いる器具、機械又は装置の数、性能、所在の場所及びその所有又は借入れの別）
　【検定を実施する者の資格及び数】
　【検定以外の業務を行っている場合にあっては、その業務の種類及び概要】
　【法第27条各号の規定に該当しないことを説明した書面】
　【第10条の３各号の規定に適合することを説明した書類】
＜／ＰＲＥ＞＜／ＢＯＤＹ＞＜／ＨＴＭＬ＞

備考

１　１行は36字詰めとすること。

２　「【氏名又は名称】」の欄には、法人にあっては、名称を記録し、「【氏名

又は名称】」の欄の次に「【代表者】」の欄を設けて、その欄に代表者の氏名を記録すること。

3　文字は、日本工業規格X0208で定められている図形文字並びにX0211で定められている制御文字のうち「復帰」及び「改行」を用いることとし、図は用いてはならない。

ただし、「【」（日本工業規格X0208区点番号（以下「区点番号」という。）1—58)、「】」（区点番号1—59)、「▲」（区点番号2—5）及び「▼」（区点番号2—7）は用いてはならない。（欄名の前後に「【」（区点番号1—58）及び「】」（区点番号1—59）を、又は置き換えた文字の前後に「▲」（区点番号2—5）及び「▼」（区点番号2—7）を用いるときを除く。)。

日本工業規格X0208で定められている文字以外の文字を用いようとするときは、日本工業規格X0208で定められている漢字に置き換えて記録し、又はその読みを平仮名で記録し、それらの前に「▲」（区点番号2—5)、後ろに「▼」（区点番号2—7）を付すこと。

4　「<」、「>」又は「<」及び「>」によって囲まれた欄名は、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。

5　「【様式番号】」の欄には、日本工業規格X0201で定められている文字を用いること。

6　文字の符号化表現は、日本工業規格X0208附属書1で定められている方式を用いること。